USB インターフェース
バーコードペンリーダ
ST650
取扱説明書

日栄インテック株式会社

目 次

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への
危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。

 警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。

■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物のど近くなでは使用しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。

■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。

・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。

■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。

・火災・爆発・故障の原因になります。

■故障した状態のままで使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をＯＦＦにしコネクタを抜いて下さい。

・感電（火災）の原因になります。

注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。

■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。

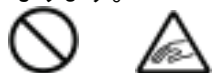
■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。

■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。

■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。

■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。

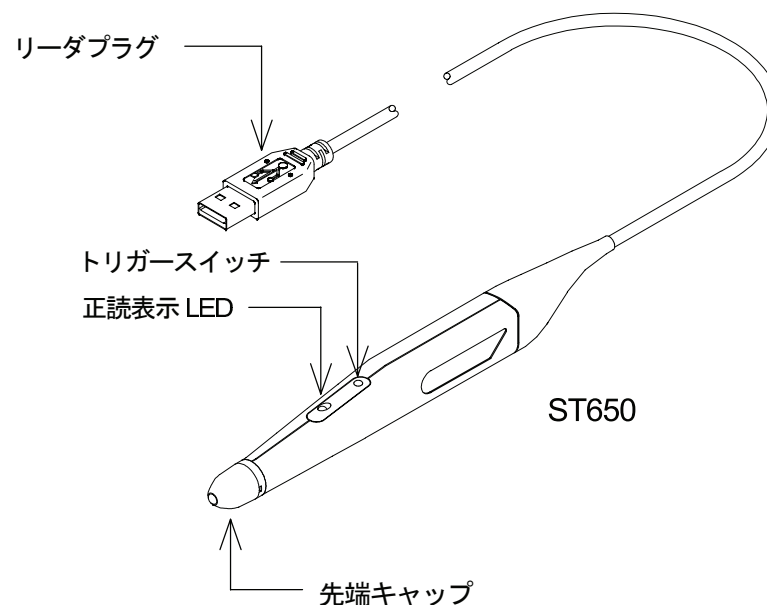
はじめに

このたびは、バーコードリーダ ST650 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機を常に安全かつ最良の状態でご使用頂くため、「安全上のご注意」（P2～4）ならびに「操作方法」(P8)をよくお読みになり、内容をよく理解して頂き正しくお使い下さるようお願い致します。

動作環境

本製品を使用するためには、Windows98,WindowsMe,Windows2000,WindowsXP 又はそれ以降の OS が必要となります。

*Windows は米国およびその他の国での米国 Microsoft 社の登録商標です。

各部の名称

セットアップ

以下はWindows 98 の例です。Windows 2000、Windows XP 等の場合は、本製品をUSBポートに接続すると自動的に新しいハードウェアの追加が行なわれますので、以下のような手続きは必要ありません。

(1) パソコンの電源を投入しOSを起動させます。

(2)本製品のリーダプラグをパソコン本体又はUSBハブのUSBポートに接続します。

(3)本製品を接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので「次へ」ボタンをクリックしてください。

(4)「使用中のデバイスに最適なドライブを検索する（推奨する）」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。

(5)「CD-ROM ドライブ」をチェックし、CD-ROM ドライブにWindows98(又はご使用中のOS)のCD-ROMを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

(6) 「USB ヒューマンインターフェースデバイス」が検索されたら「次へ」ボタンをクリックします。

(7)「完了」ボタンをクリックします。これでセットアップは終了です。

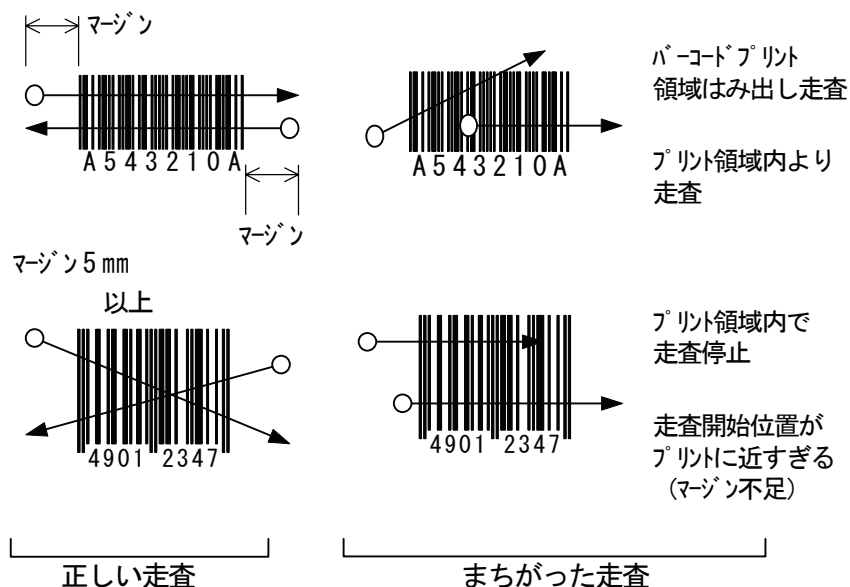
操作上の注意

・バーコードの複写（コピー等）は、読取りの低下の原因となりますので出来る限りお避け下さい。
・先端キャップの先端部にキズや汚れを付けないようにして下さい。

操作方法

本装置を手で持ち、メディア（バーコードが印刷されているラベル）のバーコードプリント領域全体にわたって、左側から右側へ（またはその逆）本装置の先端を軽く接触させたまま、バーコードプリント領域を抜け切るように素早く走査（スキャン）します。
（強い力で接触させる必要はありません。）

バーコードが正しく解読されると、ブザー（短音）が１回鳴り、また同時に正読表示LEDが点灯し、オペレータに知らせます。

正しく解読されなかった場合、ブザー及び正読表示LEDは動作しませんので、再度走査して下さい。

＊ バーコードリーダはメディアに対して垂直（９０度）から４５度の角度の範囲で走査して下さい。
（バーコード面の全反射をさけるため、垂直よりも傾けた方が読取り易いです。）

＊ マージンは5㎜以上あけて走査を開始して下さい。
（速度変化を少なくするためマージンは大きめに取った方が読取り易いです。）

仕 様

項目	仕様
光源	赤色ＬＥＤ（６６０ｎｍ）
分解能	０．１４ｍｍ
走査速度	８～１００ｃｍ／秒
クリアランス	０～１．８ｍｍ
操作角度	９０°（垂直）～４５°
読取りバーコードメディア	ＪＡＮ，ＥＡＮ，ＵＰＣ，NW-7，ＣＯＤＥ-３９ Ｉｎｔ２ｏｆ５，ＣＯＤＥ-９３，ＣＯＤＥ-１２８
読取り桁数	ＪＡＮ，ＥＡＮ＝８，１３桁　ＵＰＣ＝７，１３桁 NW-7，ＣＯＤＥ-３９＝１～４８桁 （スタート・ストップコードを含まない） ＣＯＤＥ-９３，ＣＯＤＥ-１２８＝１～４８桁 Ｉｎｔ２ｏｆ５＝４～４８桁　ＩＴＦ＝６，１４，１６桁
確認表示ＬＥＤ	正読表示ＬＥＤ
確認通知ブザー	正読ブザー音
電源	DC +4.4V～+5.25V（バスパワードデバイス）
消費電流	待機時25mA以下、読取り時100mA以下、ｻｽﾍﾟﾝﾄﾞ時500μA以下
コネクタ	USBコネクタ(Aタイプ)
インターフェース	USB Ver1.1(HIDクラスVer1.1 Keyboard)準拠
ケーブル	1.5m（ストレート）、φ3.8mm
重量	60ｇ以下（ケーブル、コネクタ含む）
使用温度（湿度）	０℃～＋４０℃（１０～９０％ＲＨ非結露）
保存温度（湿度）	－２０℃～＋６０℃（８～９０％ＲＨ非結露）

保 証

製品の無償保証期間は、ご購入日より１年間とさせて頂きます。ただし期間中でもお客様の取扱い及び保管上のミスによる損傷やケーブル・コネクタ・消耗品の交換は有償となります。

また、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

設 定

各設定はバーコードメニューで行ないます。
一度設定した内容は記憶しており、再度設定を行なうまで設定内容は保持しています。

その他の設定

読取りコード設定、機能設定はバーコードメニューシートの☆印が初期設定になっています。

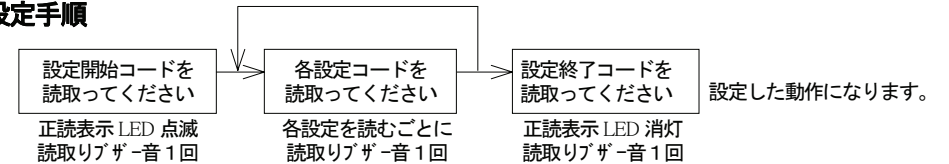
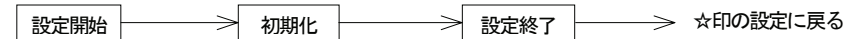
出力データフォーマット(初期設定時)

例：ａ１２３４５６ａを読取ったとき

ａ１２３４５６ａ　Ｅｎｔｅｒ

バーコードメニュー設定

メニューによる機能設定は、設定終了した時点で記憶されます。
(電源 OFF 後も保持されます)

設定手順

初期化する手順

＊設定開始後２分以内に次の設定コードを読取らせてください。
２分を過ぎると設定開始前の常態に戻ります。

バーコードメニュー説明

読取りコード設定

C/D有で読取る	所定のチェックデジットの計算でチェックを行ない、正しい場合のみ読取ります。
C/D無で読取る	チェックは行ないません。データとして読取ります。
NW-7チェック方法	チェックデジットの種類選択です。
NW-7ｽﾀｰﾄｽﾄｯﾌﾟ文字選択	小文字（ａ～ｄ）、大文字（Ａ～Ｄ）の選択です。
Interleaved2of5	ＩＴＦ６・１４・１６の場合、ＪＩＳＸ０５０２物流商品コードのみ読取ります。

バーコード種別

バーコードの種類	種別コード
ＪＡＮ１３･ＥＡＮ１３	＝ＩＡＮ１３
ＪＡＮ８･ＥＡＮ８	＝ＩＡＮ△８
ＵＰＣ－Ａ	＝ＵＰＣ－Ａ
ＵＰＣ－Ｅ	＝ＵＰＣ－Ｅ
ＮＷ－７	＝△ＮＷ－７
ＣＯＤＥ－３９	＝△Ｃ－３９
Interleaved2of5	＝ＩＮＴ２５
ＩＴＦ６	＝ＩＴＦ△６
ＩＴＦ１４	＝ＩＴＦ１４
ＩＴＦ１６	＝ＩＴＦ１６
ＣＯＤＥ－９３	＝△Ｃ－９３
ＣＯＤＥ－１２８	＝△Ｃ１２８

＊△はスペースです

バーコード種別コードは読取ったバーコードデータの後に付加されます。

トリガスイッチ機能

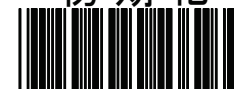
「ON の間連続読取り」にした場合、トリガスイッチを押しつづけている間（読取り可能状態）は、バーコードを連続して読取ることができます。
トリガスイッチを離してから、約６秒後に読取り光源ＬＥＤは消灯します。

「ON で１回読取り」にした場合、読取り可能状態でバーコードを１回だけ読取ることができます。
読取り終了後、光源ＬＥＤは消灯します。続けて読取りを行なう場合は、トリガスイッチを再度押し直して下さい。

初期化

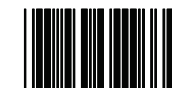
すべての設定を☆印に戻します。

バーコードメニューシート

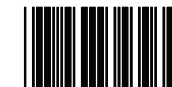
設定開始

初 期 化　　　設 定 終 了

読取りコード設定

NW－７

☆C/D 無で読取る

C/D 有で読取る

NW－７ﾁｪｯｸ方法

☆モジュラス 16

7 チェック

NW－７ｽﾀｰﾄ･ｽﾄｯﾌﾟ 文字選択

☆小文字

大文字

NW－７ｽﾀｰﾄ･ｽﾄｯﾌﾟ 文字出力

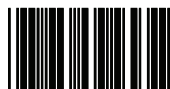
出力しない

☆出力する

ＣＯＤＥ－３９

☆C/D 無で読取る

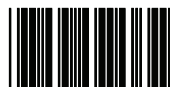
C/D 有で読取る

Interleaved 2of5

☆C/D 無で読取る

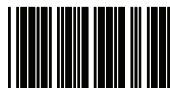
C/D 有で読取る

ITF-6・14・16

読取らない

ＣＯＤＥ−９３

☆読取る

読取らない

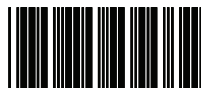
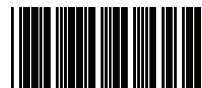
ＣＯＤＥ−１２８

☆読取る

読取らない

UPC-A 桁調整

☆"0"付加する

"0"付加しない

UPC-E 桁調整

"0"付加する

☆"0"付加しない

バーコード種別

☆出力しない

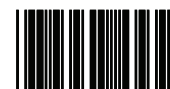
出力する

チェックデジット

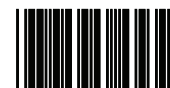
出力しない

☆出力する

機能設定

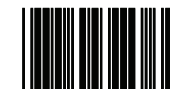
読取確認のブザー

鳴らさない

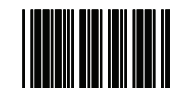
☆鳴らす

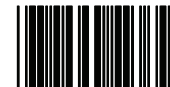
エンターキー

付加しない

☆付加する

出力速度（速度１ ⇔ 速度４ ：遅い ⇔ 早い）

速度 1

☆速度 2

速度 3

速度 4

トリガスイッチ機能

☆ON の間連続読取り

ON の間 1 回読取り

キーボード選択

☆106/109 キー（日本語）

101 キー（英語）

テストバーコード

ＵＰＣ－Ａ

0 47661 37166 7

ＥＡＮ／ＪＡＮ

4 912345 678904

ＣＯＤＥ-３９
(C/D 付)

ＮＷ－７
(C/D 付)

Interleaved2of5
(C/D 付)

ＣＯＤＥ-１２８

[注意]

1. 本製品の仕様および本取扱説明書は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

2. 本取扱説明書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

3. VCCI について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。